

土構造物の要求性能の実現を目指した盛土締固め管理の合理化 に関する研究委員会

平成 30 年度 第 4 回 議事録

日時	平成 31 年 3 月 18 日 (月) 15:00~17:30				場所 (株)複合技術研究所						
委員長	龍岡 文夫	○	幹事長	平川 大貴	○	委員	毛利 栄征	×	委員	菊本 統	×
委員	橋本 隆雄	○	委員	並河 努	○	委員	菊池 喜昭	×	委員	木井 敦夫	×
委員	河田 雅也	○	委員	近江 健吾	○	委員	粕谷 悠紀	○	委員	富田 佑一	○
委員	大森 慎哉	○	委員	佐藤 靖彦	○	委員	吉田 輝	○	委員	永井 裕之	○
委員	三反畑 勇	○	委員	藤原 斉郁	×	委員	松尾 修	○	委員	末岡 徹	×
委員	林 良樹	○	委員	Duttine Antoine	×	委員	荒井 靖仁	○	委員	金子 秀樹	○
委員	三隅 英俊	○	委員	曾田 英揮	○	委員	中村 洋丈	×	委員	石原 雅規	×
委員	中島 進	○	委員	内山 恵一	○	委員	眞壁 淳	×	委員	三浦 亨	×
委員	石黒 健	×									

○：出席 △：代理出席 ×：欠席

【配布資料】

- 資料-30.4.1：平成 30 年度第 3 回議事録(案)
- 資料-30.4.2：第 54 回地盤工学研究発表会(さいたま大会)・ディスカッションセッション(DS)「盛土の締固め管理の合理化(DS-7)」について
- 資料-30.4.3：話題提供 末岡委員
- 資料-30.4.4：報告書・目次案(更新)
- 資料-30.4.5：転載許諾願(例)

議事録

1. [追加事項] 委員の交代および退任について
田中麻穂委員の退任、および石田剛朗委員から三隅英俊委員に交代となった。
2. 前回議事録の確認 (資料-30.4.1)
修正等あれば、1 週間以内に平川幹事長にご一報ください。
3. 報告事項
 - ・第 54 回地盤工学研究発表会の DS について(資料-30.4.2)
計 17 編の投稿があった。セッションの時間的制約から資料-30.4.2 に示す 8 編を採択した旨の説明がなされた。著者の希望に沿えなかった 9 編については、一般セッション「締固め」での発表の可否を相談する。(3/19 完了)
 - ・[追加事項]小石原川ダムの見学について
平川幹事長より小石原川ダムの見学会についての説明、曾田委員より現場の紹介がなされた。委員各位には 3 月 19 日午前中にメールでご案内する。(資料は 3/19 メールで配信済み)
4. 審議事項
 - (1)話題提供および討論 (資料-30.4.3)+当日配布「土と基礎 1983-11, 久野悟郎：R.R. Proctor」・「龍岡委員長-54JGS：盛土の締固め管理における飽和度とエネルギーの管理の意義」
末岡委員の話題提供「ナイジェリア・カドナ地方における花崗岩質風化残積土の締固め体験」は次回に延期する。
龍岡委員長より R.R. Proctor の締固めの論文(Engineering News Record, 1933)の内容について説明がなされた。効果的な土の締固めを行うにあたり、飽和度、締固度および剛性に対する管理の併用の必要性について意見交換を行った。
 - (2)今後の検討内容と方針について(資料-30.4.4~5)
本委員会の最終成果品(書籍)は、技術者・研究者にとって有益な資料となるような土の締固めの技術・学術の進展をとりまとめたものとした。ここでは土の締固めにおける施工・設計・性能の合理

化につながる内容とし、基礎的な内容は割愛する。密度管理や空気間隙率管理、剛性管理の解説はあるが、その関連が書かれた書籍はない。総頁数は本編で 300 を目安とし、本委員会の活動期間内(2020年3月)で草稿執筆を完了する。

各 WG での状況を主査等から説明され、内容の審議を行った。今後、各 WG での検討内容について委員会で審議を行い、これを繰り返すことで最終成果品(書籍)の記載内容を精査する。

最終成果品(書籍)の作成に向けて、内容の検討に際しては転載許諾にご留意頂きたい。写真などはなるべく自前のものを用いる、難しい場合は模式図などを用いる等の配慮をお願いしたい。

次回委員会(予定)

- ・2019年5月で日程調整を行う。詳細は、メール審議を行って決定する。

以上